

自由記述交流システムの利用目的と操作方法

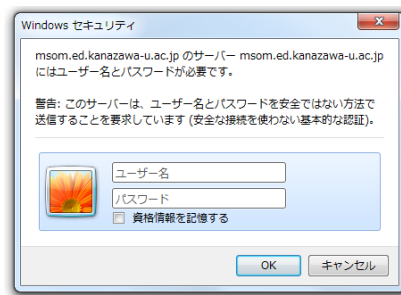
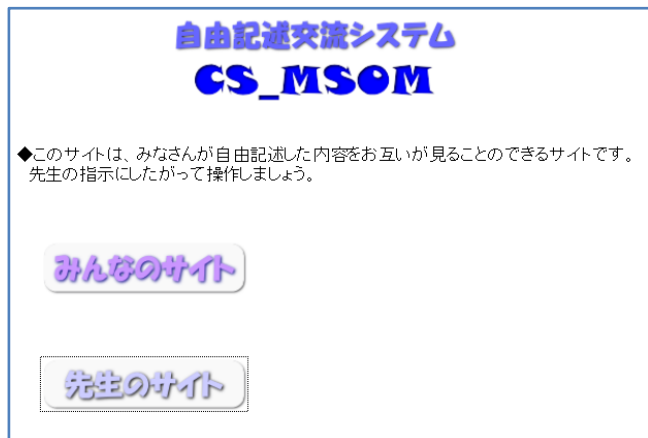
<目的>

自由記述交流システムは、自分の考えを web 上に自由記述し、クラスにおいてお互いが見ることにより、考えを確認したり、深め合ったりすることができるシステムです。自己組織化マップにより、同じような記述内容が近くにくるように整理され、クラス全体の考えを把握しやすいようになっています。

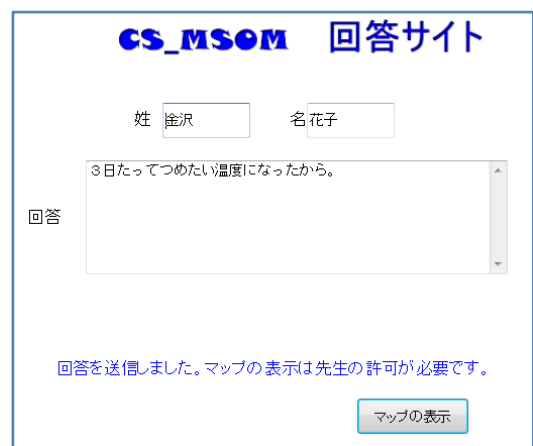
<操作方法>

教師用のサイトと子ども用のサイトがあります。

①子ども用サイトまたは教師のサイトを選びます。ユーザー名とパスワードを入力します。



②子ども用のサイトにおいては、子どもは自分の名前と考えを書き、「送信」をクリックします。



③子どもが考えを送信した後、教師は教師用サイトで「マップの作成」をクリックしマップを作成します。



④しばらくすると教師用サイトにマップが表示されます。表示後、子どもには、子ども用サイトにおいて②の「マップの表示」をクリックすると、同様にマップが表示されます。マップのセルには、名前（姓のみ）が表示されます。名前が表示されたところをクリックすると、その子どもの考えが右枠に表示されます。表現が似ているほど、近くまたは同じセルに名前が表示されます。自分に近いところを参照すると同じような考えの表現を参照できます、自分より遠いところを参照すると自分の考えと違った表現を参照できます。

教師においては、いろいろな考えを実際に発表させたいときは、遠い位置の子ども同士を指名するようにします。同じような考えの子どもをグループにしたいときは、マップの近くに位置している子ども同士をグループにします。

子どもの記述は、「ホウ酸をとけるだけとかした水溶液をビーカーに入れて、理科室にだれもさわらないようにして置いておきました。3日後、水溶液を観察すると、とけて見えなくなっていたホウ酸がビーカーの底にでていました。そのわけを考えて書きましょう。」の回答例です。氏名は、架空のものに書き替えています。また、比較のために、参照したものを一度に示しています。同じような記述内容が近くに位置していることがわかります。

CS_MSOM 交流サイト

松山			宝達			高知		高松		内灘
						羽咋			珠洲	
宮城			志賀							
							能美		白山	
						輪島				
								茨城	穴水/福島	
			松任		山口					長野
山形										
						川北		金沢		
										加賀
			千葉		七尾		長崎	津幡	伊予	
										香川
能登							土佐			
			福井		宮崎		小松	福岡		河北

内灘節子: 完璧にとけていないからしずんだ。

高松一美: とけていないホウ酸がしずんだ

金沢翔太: とけたホウ酸がビーカーの底に集まった。

津幡五郎: とけたホウ酸がビーカーの底にあつまったから。

能登太郎: ホウ酸は温めるととけるホウ酸の量はふえるけど、逆に冷えるとホウ酸のとける量は少なくなるので、最初とけていたホウ酸が冷えてとけなくなった分のホウ酸が出てきた。

宮城裕子: ビーカーの中に入れたホウ酸が理科室に3日もおいていたから、温度が下がりホウ酸のとける量がへって下におちてたまっていた。